

ゆつくりと時間をかけて回転させて、備えをしなければならないことがある。

事務的に、順序立てて、あらかじめきめておくだけではすまないことがある。四月の新入園児を迎えるときのことがそうである。

もちろん、事務的に準備しておかねばならないことはいろいろあるだろう。しかし、子どもが来て、その顔を見なければわからないことがたくさんある。それ

とぎになつてみなければわからないことのために備えをするのは、準備の中でも一番たいへんな部分である。あらかじめ

きめたことをそのまま遂行すればできるという種類のことではない。いろいろの子どもたちが来て、思いがけないことが必要になつたりする。それに応じて、子どもたちが最初の日から満足して一日を過ごすことができるようになりたいと思う。事務的な準備も、そのためこそす

ませておかなければならない。

(津守 真)

それでもまして、保育者はどんな子ど

もにも心を開くことができるよう、自分

の心をととのえておくことがだいじだと思う。それは卒園させる子どもを見ているいま、すでにはじまっている。いま

いる子どもたちに、日日満足してもらうように、自分の心を開く努力をしながら、新しい子どもたちを迎える備えは、

ゆつくりとはじまっている。

そして四月の最初の日には、はじめて出会う子どもたちと、専心、ゆつくりとつき合えるように自分自身をもつてゆきたい。

できることならば、最初の日には、教師は入園式や来賓の接待にわざわざしないで、子どもとゆっくりと過ごせるようになってゆく必要がある。それができたらば、どんなにいろいろの問題が起こらないですむことであろうか。

幼児の教育 第七十六巻第四号

四月号 ◎ 定価二〇〇円

昭和五十二年三月二十五日 印刷
昭和五十二年四月一日 発行

112 東京都文京区大塚一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼
発行者 津 守 真

112 東京都文京区大塚二ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

発売所 株式会社 フレーべル館
振替口座東京九一一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所フレーベル館にお願いいたします

※万一製品不良本がございましたら、おとりかえいたします。